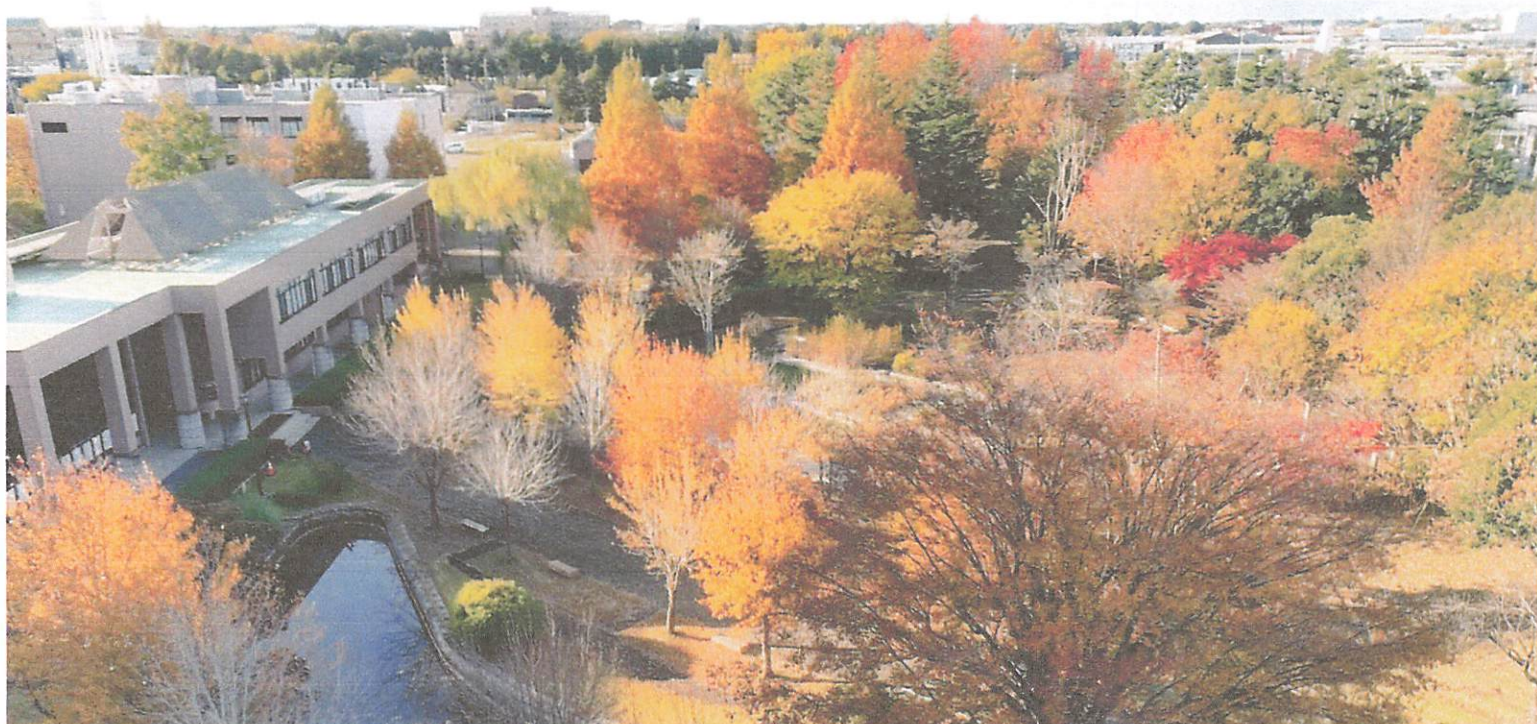


茨城大学
農学部

同窓会報



同窓会長あいさつ

茨城大学農学部同窓会
会長 中村 直紀

今年は茨城大学が創立されて75周年に当たる節目の年になります。

正確に言いますと昭和24年に水戸高等学校、茨城師範学校、茨城青年師範学校、多賀工業専門学校の四校を母体として新制の茨城大学が創立され、その3年後の昭和27年に県立農科大学が農学部として加わり現在に至っております。

現在、茨城大学が将来目標として掲げている「イバダイビジョン2030」では、大学と大学に関係する様々な人や企業・団体・地域社会等とが連携し、持続可能な社会づくりに貢献する大学としてその存在感を高めていく必要があるとしています。

目標実現に向けたその一つの仕組みづくりとして教職員・在学生・卒業生のみならず大学と何らかのつながりのあるすべての人や企業、団体等いわゆる様々なステークホルダーで構成する「校友会」の設置が検討の組上に上がっております。

これから設置しようとしている「校友会」と既存の各部「同窓会」は、構成メンバーやその活動内容に一部重複する部分はありますが、その性格付けの違いを概略整理しますと、まず「同窓会」は同じ学部の在学生とその卒業生などで構成されている団体で、学部、学科の永年の歴史の上に卒業生のネットワークを生かした交流の機会、事業などを通して卒業生同士また在校生との絆を深める事業等を実施しているものであります。

また、今度の「校友会」構想ではすべての学部の在学生と卒業生、役員、教職員、退職者等で組織し学部横断的な事業の実施を通し、茨城大学や学生等を支援し“All 茨城大学コミュニティ”の醸成・強化を図るものとしております。今後細部にわたる検討の後、令和6年中の設立が見込まれております。

農学部同窓会としましては、限られた予算と執行体制の中ではありますが新たにスタートする校友会との役割分担のもと、農学部在学生への各種支援、卒業生同士また卒業生と在学生との交流機会の創設などの事業を通して農学部の発展に寄与してまいりたいと考えておりますので、会員の皆様方の変われぬご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。